

道

2020年6月1日
(第58号)

鬼ノ城(古代の山城・総社市)



船で隣り合わせに座ったことがきつかけだったように思う。歌を口遊んだ。「忘れな草をあなたに」。彼女はよく覚えていないと言っていたけれど、僕の人生はここからどんな横道に逸れていく。その前二年間、僕は懲罰的に与えられた部署で仕事をした。そして、やっと本来の職務に戻ることにになり、その研修から帰る途中だった。▼何年か経って僕は彼女との将来を夢見て全てを投げ出す。天職だと思っていた仕事を辞め、家族と離れ、住む場所も県外に移した。しかし、僕は、その彼女をも裏切ってしまう。昭和後期から平成に移る頃のこと。流行っていた歌の題、「時の流れに身をまかせ」(テレサ・テン)、「ろくなもんじやねえ」(長渕剛)、そのままだ。▼この「コロナ禍」、何を能天気なことを言っているんだとお叱りを受けそうである。でもまあ、人生、どこでどう転ぶか分からない。新しい生き方を考える時かもしれない。遠くに住んでいたりして会えないと諦めていた人と「オンライン」で話したり飲み会ができるということも知った。「コロナ」が去って早く元の生活に戻れることを望みつつ、元どおりにならないほうがいいこともある。▼ともあれ、今、じっくりくる歌のひとつが「まちがいさがし」(菅田将暉)だ。「まちがいさがしの正解の方じゃきつと出会えなかったと思う」(詞は米津玄師)。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也



遠田
棕の木

※「Zoom」「たくのむ」など、共に楽しみませんか。